

テーマ

デジタル化と政治コミュニケーション：
反グローバリズム時代の多文化共生

秋季 名城公園キャンパス

10月23日(木)
18:00~20:00

文学部 大澤 傑

21世紀に入り、デジタル化とグローバル化が同時に進んできました。もともと、デジタル化は、多様な意見に触れることを可能とし、民主主義を深めると考えられていました。他方、グローバル化も、これまでアクセスできなかったモノや文化に触れることを可能とし、人々の未来をより豊かにすると考えられていました。しかし、近年、デジタル技術がむしろ社会の分断を促進し、そのターゲットとしてグローバル化がやり玉に挙げられる「反グローバリズム」が進んでいます。

なぜこのような現象が起きているのか。こうした時代の中で、多文化共生をどのように捉えるべきか。受講生の皆様とともに考えます。